

日本品質管理学会中部支部 第133回 ミニ講演会のご案内

日頃からの学会へのご理解とご協力、誠にありがとうございます。
 さて、日本品質管理学会中部支部では、ミニ講演会を下記の要領で開催いたします。
 今回は、会員様限定のイベントとなりますが、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

日 時 : 2018年 9月28日(金) 17:30~19:30
 会 場 : 日本規格協会 名古屋支部 セミナーホール
 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-6-1 RT白川ビル7階 TEL052-221-8318
<https://www.jsa.or.jp/other/access/#nagoya>

【ミニ講演会】について

時 間	内 容
17:30~18:00	◆集まった方から、軽食&ご歓談時間
18:00~19:30 (30分程度の 質疑時間含む)	<p>◆講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演者 椿 広計 (ツバキヒロエ) 氏 [独立行政法人 統計センター 理事長] ・ テーマ 「未来の品質から探る品質活動の未来」 ・ 要旨 未来は予測の対象ではなく創造の対象であり、新商品開発の態度で臨む必要がある。しかし、未来を支えるのも、人、情報、モノ、エネルギーとそれらの量と流れと性質、更にそれに掛かるコストである。近年知覚・聴覚・視覚情報の量・流通のコストと質が激変した。特にコスト低減は、モノ・エネルギーと情報との相互作用に価値を求める新しい製品・産業の創出をもたらした。また、人の肉体活動を代替するモノは古来存在したが、情報を流し込むことで人以上の知的活動を行うモノも誕生しつつある。歴史的にはモノ・エネルギーといった生産手段を共有化し、自由に使える状態にするのが共産主義の理想だが、既に一般的情報については意図せず「共有主義」に時代の舵が切られ、モノ経済にも波及する可能性がある。 従って、未来創りのために情報の発信と受信に関する質マネジメントのあるべき姿を確立することは急務である。特に、情報共有化社会にあって人々の価値の自由度と多様性を保つには、情報受発信の集団最適と個人最適、科学的受発信と芸術的受発信などのバランスを設計することも必要と考える。例えば、「情報」に関わる FMEA、プロセス保証など多彩な品質管理研究と活動を興さなければならない。 本講演は、これら情報に関わる人間活動の質と品とのマネジメントについて私見を述べ、種々の議論を促したい。

募集人員：会員のみ35名

参加費(軽食代含む)：税込2,000円

申込方法：会員 No.・氏名・勤務先・所属・連絡先を明記の上、中部支部事務局まで E-mail (nagoya51@jsa.or.jp)、または FAX(052-203-4806)にてお申し込みください。

申込締切：9月14日(金) 到着分まで

(但し、申し訳ございませんが、定員に到達次第、申込みは打ち切りとなります)